

岡山市の母子保健の現状

<概要>

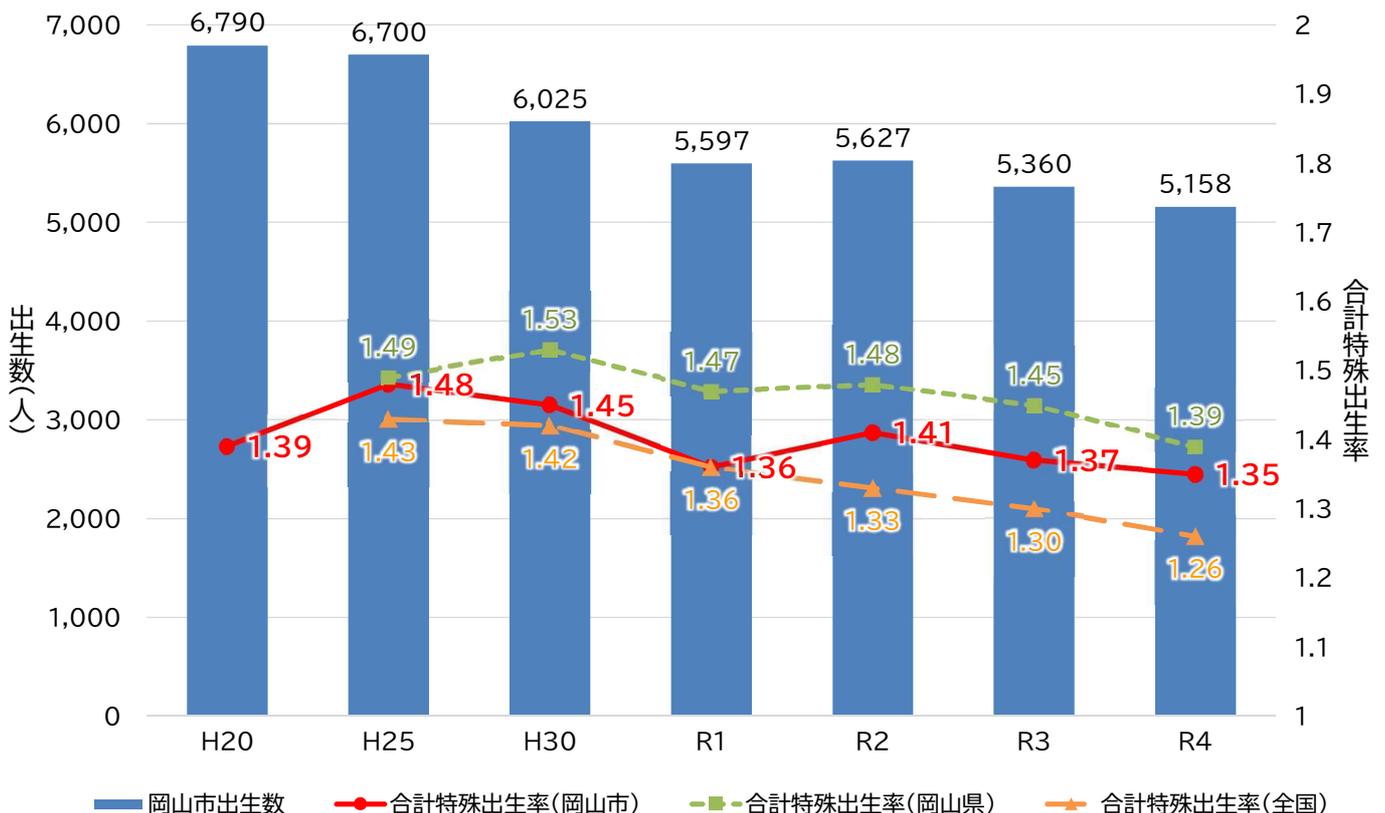
- ・岡山市の出生数、妊娠届出、低出生体重児等の状況
- ・岡山市母子保健事業の概要
- ・産婦/ハイリスク妊産婦・低出生体重児・新生児連絡票
- ・乳児健康診査のフォロー体制
- ・岡山市保健所における虐待対応件数

・資料…ライフステージに応じた主な事業の紹介

時期	事業名
妊娠期から出産	おかやま産前産後相談ステーション(さんさんステーション)、岡山市未来をはぐくむ出産・子育て応援事業、産後ケア事業
乳児期	さんさん育児相談、こんにちは赤ちゃん事業、あゆみ教室、養育支援訪問事業
幼児期	1歳6か月児健康診査、三歳児健康診査、親子いきいき教室、乳幼児こころの相談、母と子のグループミーティング

1

岡山市の出生数と全国・岡山県・岡山市の合計特殊出生率の推移



2

妊娠週数別妊娠届出の年次推移

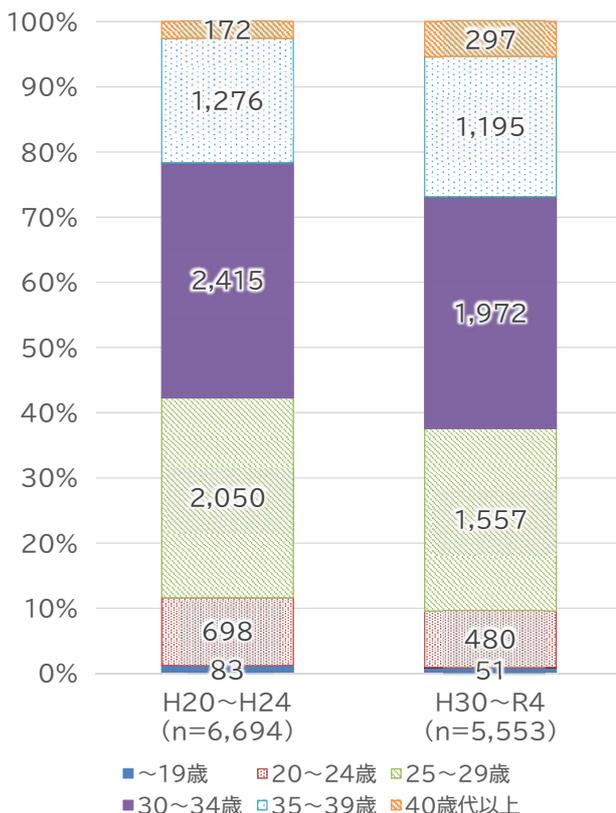
	妊娠届出 総件数	11週以内	12～21週	22～27週	28週以上	分娩後	不詳
H20	7,159	6,348	734	36	21	9	11
H25	6,872	6,488	330	16	28	10	0
H30	6,158	5,880	245	17	12	4	0
R01	6,077	5,790	236	29	18	4	0
R02	5,763	5,514	217	18	12	2	0
R03	5,613	5,366	210	18	13	6	0
R04	5,377	5,139	198	17	20	3	0
R05	5,034	4,819	184	12	13	6	0

出典：岡山市保健衛生年報

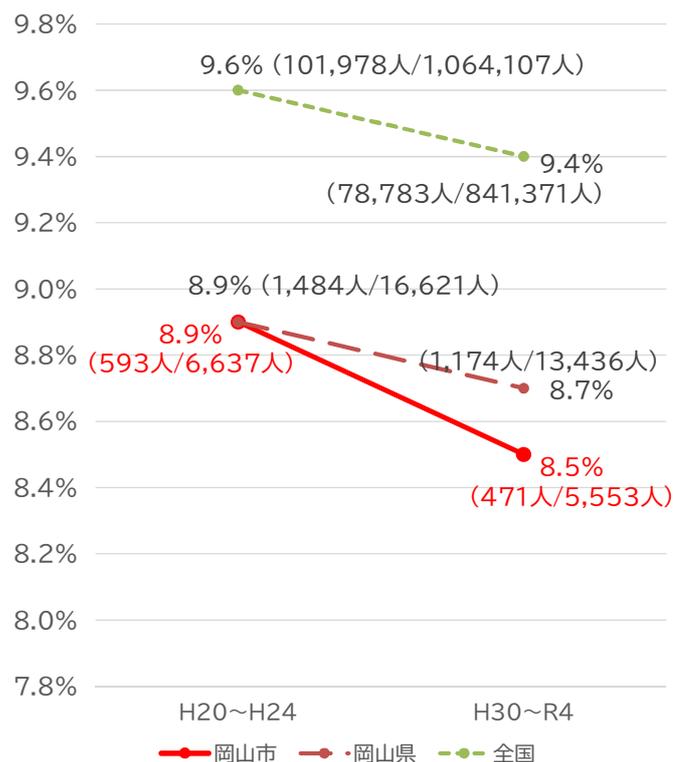
3

母の年齢別にみた年次出生数及び出生体重2,500g未満の出生割合

母の年齢別にみた出生数の変化
(H20～H24平均とH30～R4平均)



出生時体重2,500g未満の出生割合の比較
(H20～24平均とH30～R4平均の比較)



出典：「岡山市保健衛生年報」・「政府の統計総合窓口 人口動態調査」

4

岡山市母子保健事業の概要

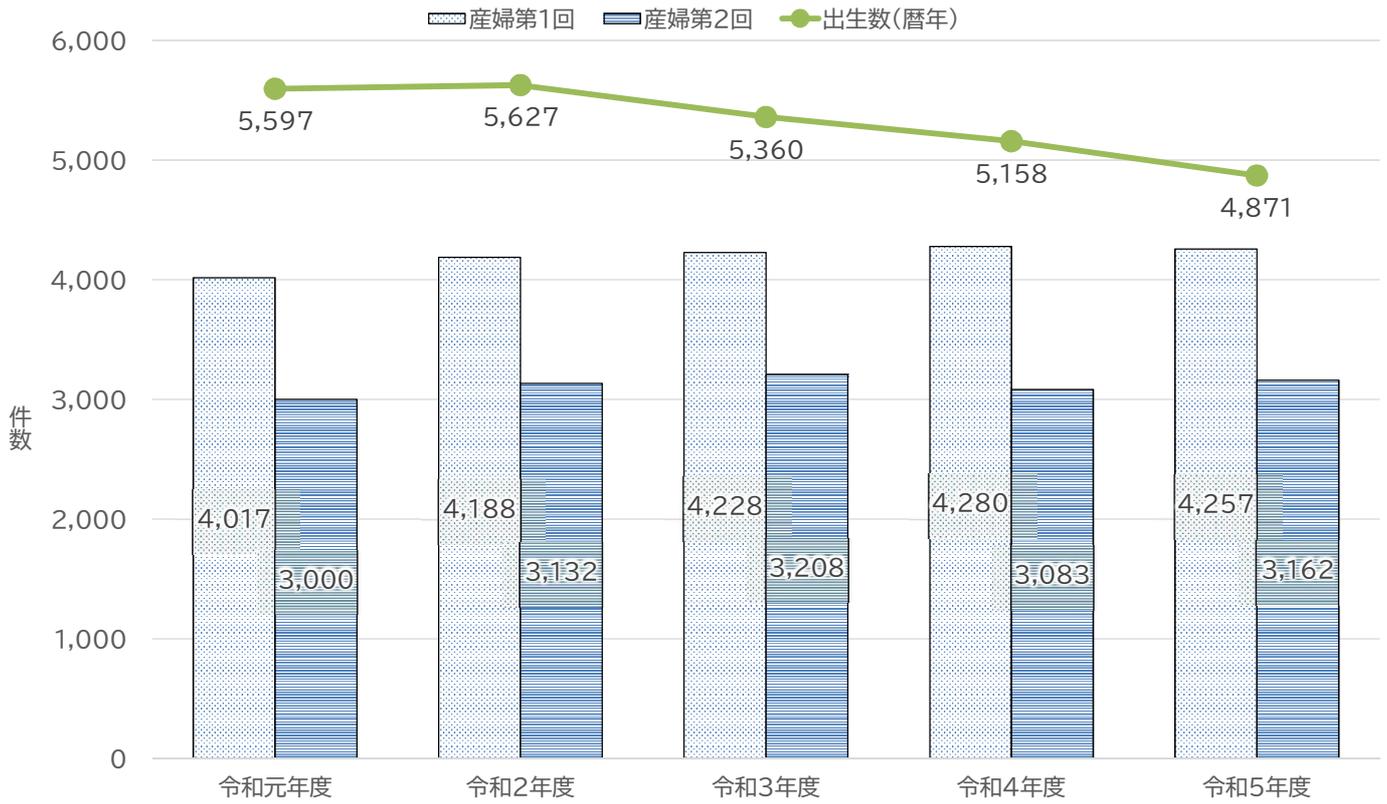
	妊娠期	出生	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	学童期 思春期
健康診査・検査	妊婦健康診査(14回)	産婦健康診査2回 (産後8週まで) 乳児一般健康診査(2回) ☆先天代謝異常検査 3~5か月児 7・8か月児 健康診査 健康診査 新生児聴覚検査 (生後6か月まで)		1歳6か月児健康診査		三歳児健康診査		
		未来をはぐくむ出産子育て応援事業 面談:親子手帳交付時、妊娠8カ月(必要な人のみ)、出生届出時		すくすく子育て相談(身体発育)				
相談(訪問・面談・教室など)		さんさん育児相談 サンデーサポート(母乳育児相談)			乳幼児こころの相談(言語情緒発達)			
		ハイリスク妊産婦連絡票からの訪問			親子いきいき教室(小集団教室)			
	若年妊婦訪問	低体重児・ハイリスク新生児訪問連絡票からの訪問 要経過観察乳幼児連絡票からの訪問 新生児・未熟児・多胎児訪問 乳幼児あゆみ教室(運動発達)						
		電話育児相談						

5

その他		産後ケア事業 こんにちは赤ちゃん事業 離乳食講習会						思春期 電話相談 いのちを 育む授業 性教育 出前講座
		養育支援訪問事業						
		母と子のグループミーティング						
		おやこクラブ支援						
		障害児親の会支援						
		不妊治療費助成事業	自立支援医療(育成医療)・小児慢性特定疾病医療助成 未熟児養育医療					
歯科	妊婦パートナー歯科健康診査				歯と口の相談			フッ素 洗口

6

産婦健康診査の年次推移



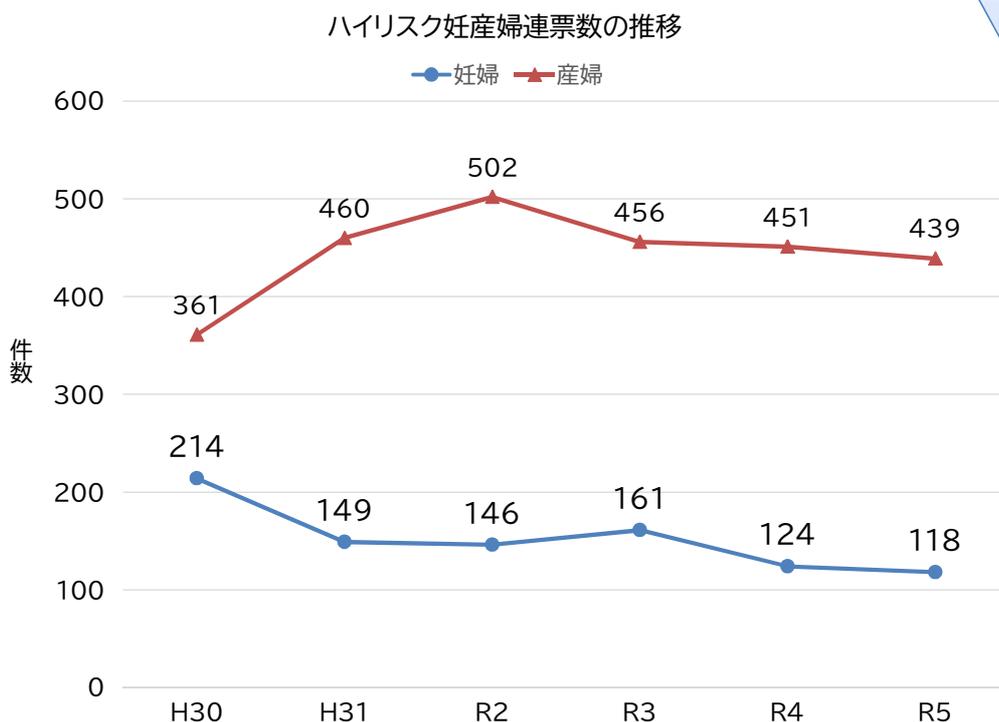
※ 参考として暦年の出生数を表示している ※ 県外医療機関での受診者は除く

出典:岡山市健康診査データ(令和6年7月11日現在)

7

ハイリスク妊産婦連絡票

妊娠中から支援が必要な家庭を把握した際、医療機関が本人に同意を取り、ハイリスク連絡票を用いて、保健所に情報提供するもの



【目的】
妊娠中から保健師が関係機関と連携を持ちながら、産科医療機関等と情報共有し早期に支援を開始することで児童虐待の発生を未然に防ぐ

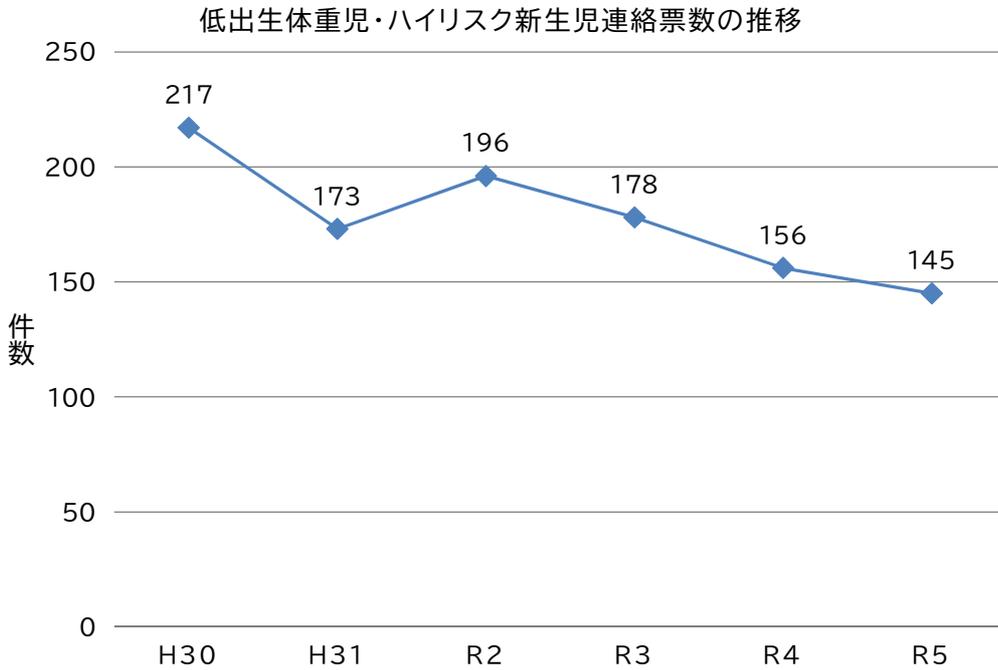
出典:岡山市保健衛生年報

8

低出生体重児・ハイリスク新生児連絡票

支援が必要な乳児のいる家庭を把握した際、医療機関が保護者に同意を取り、ハイリスク連絡票を用いて、保健所に情報提供するもの

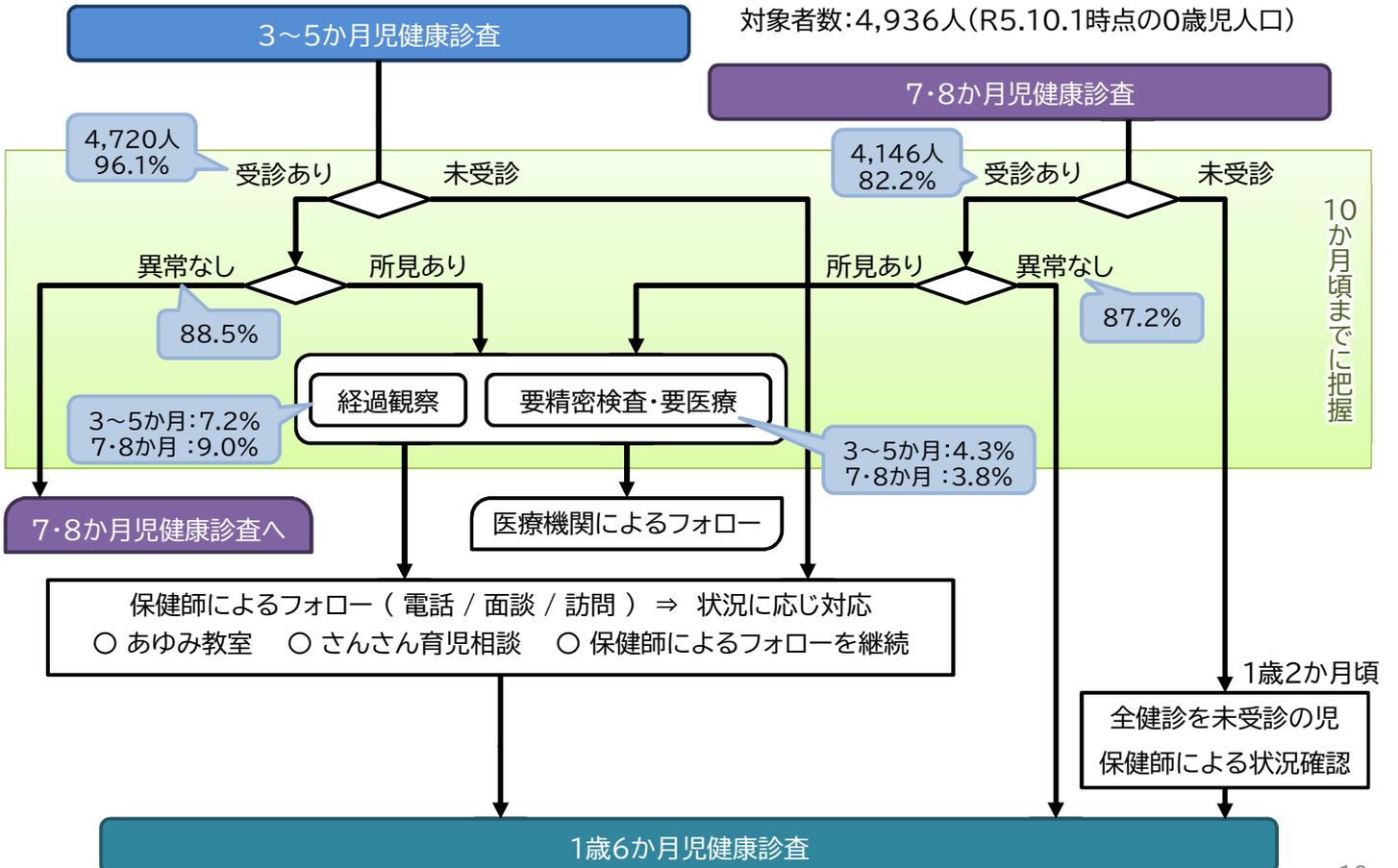
【目的】
保健師が関係機関と連携を持ちながら、産科医療機関・小児科等と情報共有し早期に支援を開始することで児童虐待の発生を未然に防ぐ



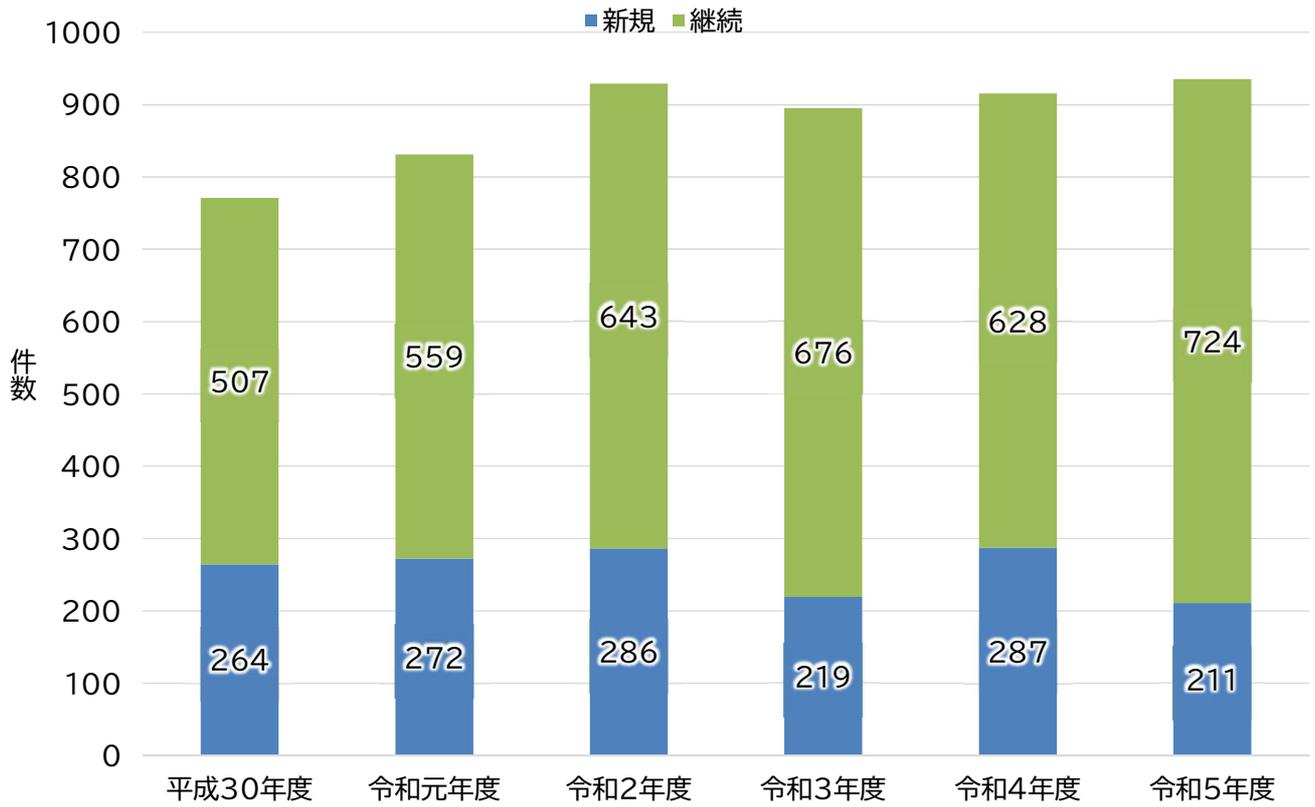
出典：岡山市保健衛生年報

受診時期が決まっている乳児健康診査のフォロー体制

対象者数：4,936人(R5.10.1時点の0歳児人口)



岡山市保健所における虐待対応件数



資料

ライフステージに応じた主な事業の紹介

妊娠期から出産

13

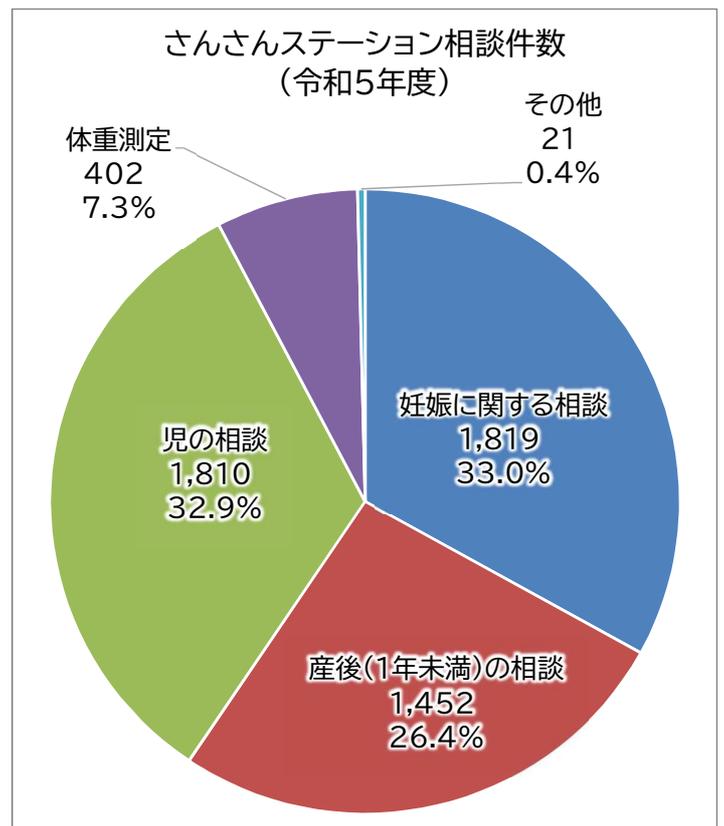
☀ おかやま産前産後相談ステーション(さんさんステーション)

- ▶ 対象者
妊娠期から出産後1年未満の
産婦と乳児、その家族

赤ちゃんの
体重測定も
しています



- ▶ 開所時間
月～金曜日 9時～16時30分



出典：岡山市保健衛生年報

14

岡山市未来をはぐくむ出産・子育て応援事業

▶ 事業趣旨

国が創設した「伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業」の実施に伴い、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整備することを目的に、妊娠期から出産・子育てまで一貫した伴走型の相談支援及び経済的支援を行う

▶ 事業開始

令和5年3月1日

▶ 事業内容

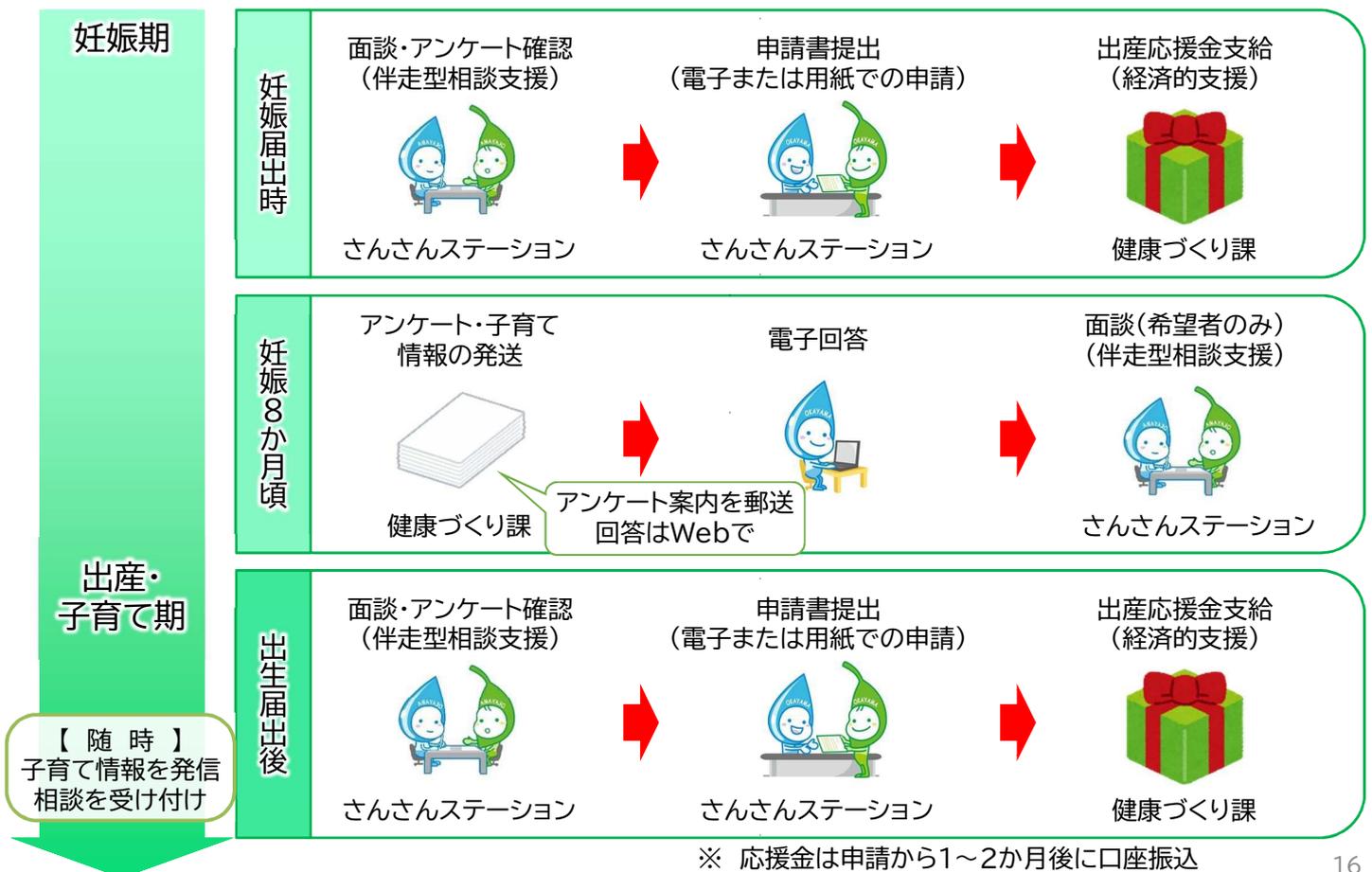
(1) 伴走型相談支援

(2) 出産・子育て応援給付金

妊娠届出時面談、出生届出時面談を実施し各5万円を給付(合計10万円)

15

岡山市未来をはぐくむ出産・子育て応援事業



16

産後ケア事業

▶ 対象者

産後1年未満の母親とその赤ちゃんで、岡山市に住民票があり産後ケアを希望する人

※ただし、入院治療の必要な人を除きます

▶ 種別と内容

宿泊 産後ケア

宿泊入所により休養の機会の提供と心身のケアや育児サポート等の支援

日帰り 産後ケア

日帰り入所により心身のケアや育児サポート等の支援

訪問 産後ケア

助産師等の訪問による心身のケアや育児サポート等の支援

サービスの内容

- ◆ 産婦の母体管理及び生活面のアドバイス
- ◆ 産婦の心理的ケア
- ◆ 授乳指導(乳房マッサージを含む)
- ◆ 沐浴などの育児のアドバイス
- ◆ 乳児の世話や発育・発達のアドバイス
- ◆ その他必要な保健指導及び情報提供
- ◆ 休息時間の確保

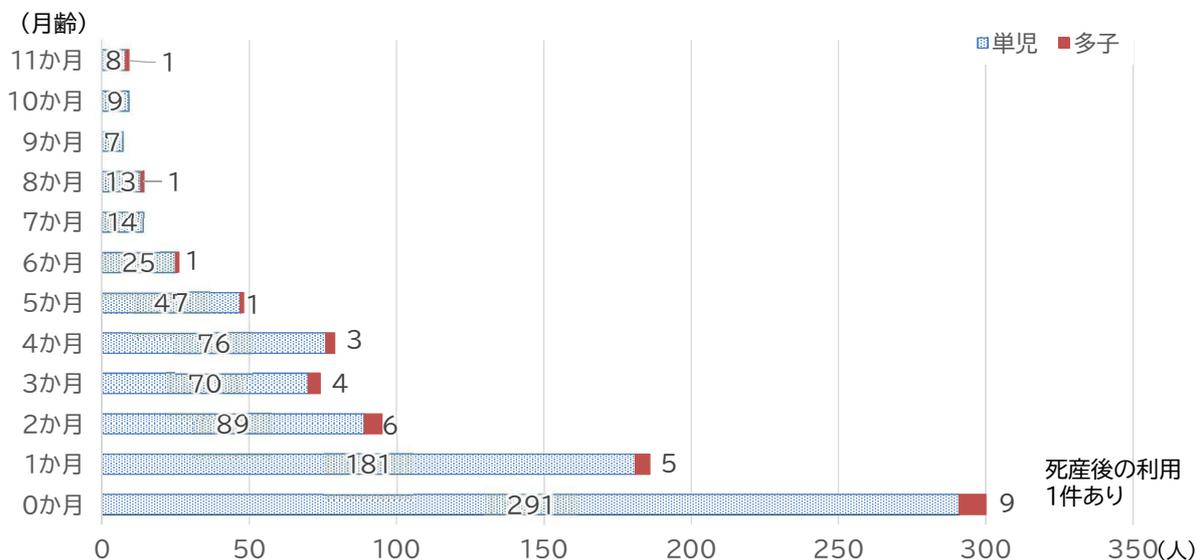
17

産後ケア事業

▶ 申請数(令和5年度)

種別	宿泊産後ケア	日帰り産後ケア	訪問産後ケア	計
申請数(延べ)	452	185	225	862

▶ 申請時の児の月齢



出典：岡山市保健衛生年報

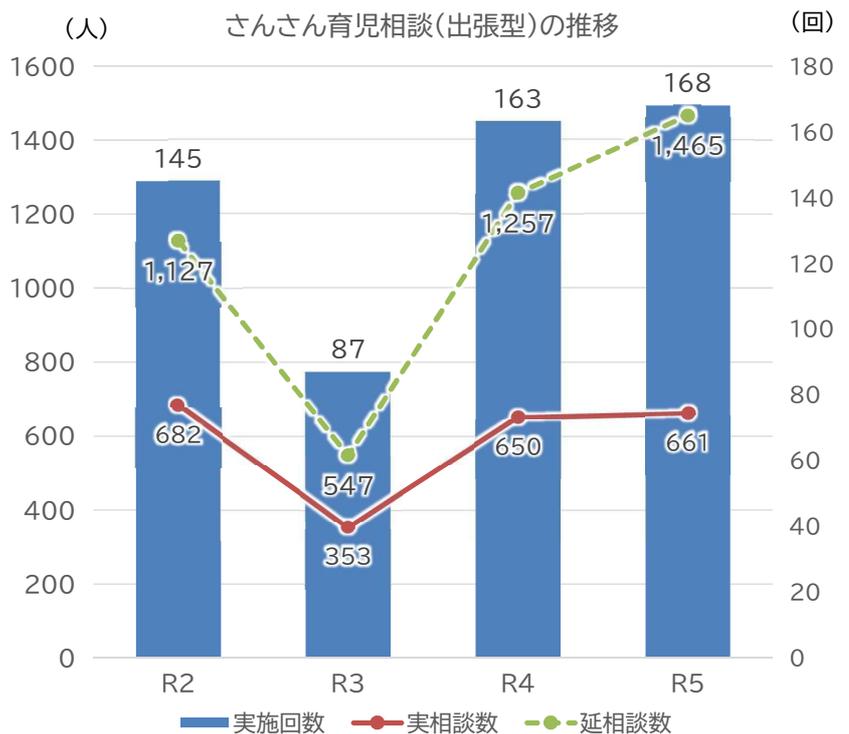
18

乳児期

さんさん育児相談

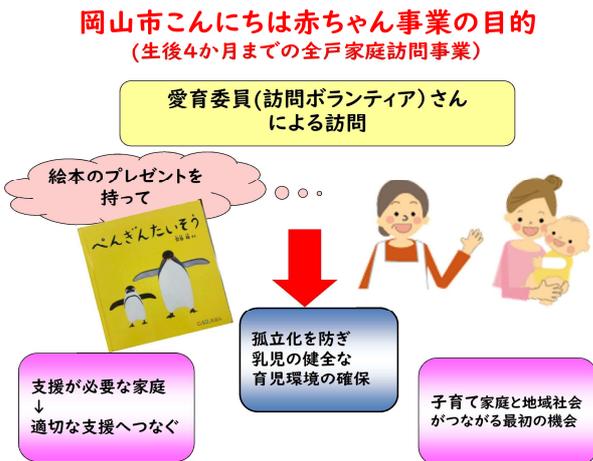
- ▶ 対象者
1歳未満の乳児と保護者

- ▶ 内容
身長・体重の計測
保健師・助産師による個別相談



➤平成20年12月から、愛育委員協議会に事業委託

- ・生後4か月までの乳児がいる全家庭を愛育委員が訪問し、子育て支援に関する情報提供を行う。また、訪問をとおして地域とのつながりを持ち子育ての孤立を予防する。
- ・令和5年7月で、9万人目の訪問実施



【訪問率】

令和元年	97.3%
令和2年	96.9%
令和3年	97.3%
令和4年	97.0%
令和5年	97.7%

出典:岡山市保健衛生年報

あゆみ教室

- ▶ **対象者**
運動発達に遅れが気になりな乳幼児



- ▶ **教室の内容**
日常生活の中での関わり方や親子あそび・運動発達を促す体操など発達のアドバイスを行う

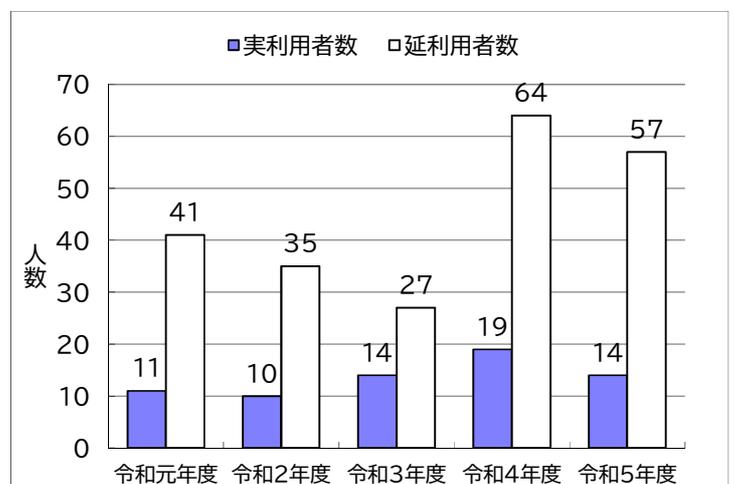
年度別利用者数

年度	利用者数(実)	利用者数(延)
R1	11	41
R2	10	35
R3	14	27
R4	19	64
R5	14	57

R2,R3年度は新型コロナウイルス感染症蔓延の影響あり

来所時年齢

年度	0歳	1歳	2歳以上
R1	5	6	0
R2	3	7	0
R3	3	11	0
R4	5	14	0
R5	2	12	0



出典:岡山市保健衛生年報



▶ 対象者・内容

養育が困難な家庭に対して、育児に関する具体的な技術指導や養育者の精神的サポートを行う。また、個々の抱える養育上の諸問題の解決・軽減を図り、安定した養育が可能となるよう支援することで児童虐待を未然に防止する

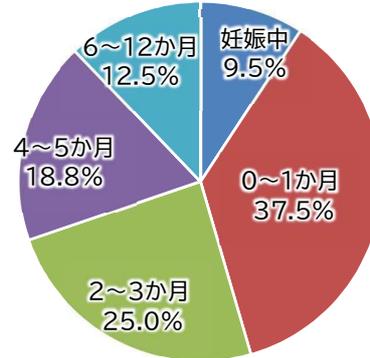
▶ 導入ケース(例)

- 養育者の養育力不足(精神疾患の既往、感情不安定、知的理解の低さ、生育歴、育児モデルがない、家事能力が低い等)
- 経済不安、予期しない妊娠など先の生活の見通しがいいまま妊娠をした
- 身近に支援者がいない、育児不安が高いが相談できる人がいない、シングルでの出産
- 夫婦不和、家族不和など家族内で問題を抱えており、孤立した育児をしている

把握方法 (R5年度)

把握方法	件数
助産制度利用	0
妊産婦 ハイリスク連絡票	8
家庭訪問	6
妊娠届出	2
計	16

養育支援訪問事業導入時期(R5年度)



出典:岡山市保健衛生年報

幼児期

1歳6か月児健康診査・三歳児健康診査

▶ 1歳6か月児健康診査 受診者数の推移と指導区分

区分 年度	実施回数	対象数	受診数	受診率 (%)	指導区分			
					正常	要観察	要精検	要医療
3	147	5,644	5,326	94.4	3,740	1,382	182	63
4	149	5,237	5,049	96.4	3,592	1,222	216	76
5	140	5,205	5,071	97.4	3,534	1,292	227	69

▶ 三歳児健康診査 受診者数の推移と指導区分

区分 年度	実施回数	対象数	受診数	受診率 (%)	指導区分			
					正常	要観察	要精検	要医療
3	156	6,022	5,606	93.1	3,278	1,592	974	84
4	159	5,529	5,306	96.0	3,378	1,202	931	114
5	154	5,494	5,274	96.0	3,156	1,271	1,128	72

出典：岡山市保健衛生年報

25

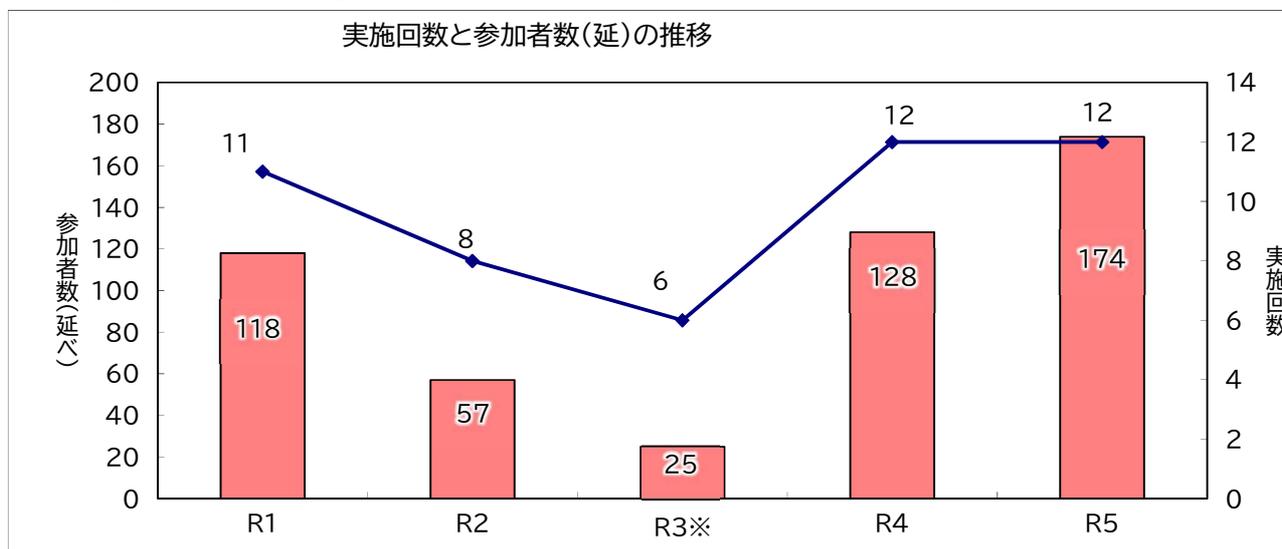
親子いきいき教室

▶ 対象者

言葉の発達(言語理解や発語)や行動(よく動く、周囲への関心が低い、こだわりが強いなど)が気になりな幼児とその保護者

▶ 内容

小集団の場で親子が一緒に遊び、ふれ合いをとおして親子の絆を深めたり、子どもの発達や関わり方について学ぶ



※R3=新型コロナウイルス感染症拡大のため1クール中止

出典：岡山市保健衛生年報

26

乳幼児こころの相談

▶ 対象者

言語理解の遅れ、周囲への関心が少ない、こだわりが強い、動き回るなど言語・情緒面の発達や社会性の発達が気になる幼児

▶ 内容

児童精神科の専門医による情緒・精神発達に関する相談

▶ 相談者数の年次推移と指導区分

区分 年度	実施 回数	受診数		指導区分(延)						
		実数	延数	問題 なし	再来	二次 教室	要精検・ 要療育	他機関 紹介	保育園 他	保健師 フォロー
3	60	203	204	0	5	2	179	15	1	25
4	71	209	215	2	6	3	182	2	1	19
5	71	203	210	1	13	7	170	2	1	17

出典：岡山市保健衛生年報

27

母と子のグループミーティング

▶ 対象者

育児不安や育児困難感を抱え子育てが負担となっている母親とその子ども

▶ 内容

グループミーティングを行うことで同じ悩みを持つ仲間(母親)との出会いや安心感を得る場を提供し、育児不安やストレスの軽減を図る。また、母親自らが自己の課題に気づき、親子関係の見直しができることで家族や地域からの孤立感を修復し、児童虐待を未然に防ぐ

参加者数 (R5年度)

対象者	保健所		南区	
	参加者数		参加者数	
	実	延	実	延
母親	10	32	10	43
子ども	8	17	11	21
計	18	49	21	64

出典：岡山市保健衛生年報

28